

報告書の作成にあたって

参議院は、平成 15 年 7 月 28 日の参議院改革協議会報告書の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成 16 年度から毎年度ODA調査のための議員派遣を行っている。

第 13 回目となる平成 28 年度のODA調査派遣は、アフリカ地域としてアンゴラ共和国、南アフリカ共和国、マラウイ共和国、モーリシャス共和国班、南米地域としてブラジル連邦共和国、チリ共和国班、東南アジア地域としてカンボジア王国、シンガポール共和国、ミャンマー連邦共和国班、中央アジア・中東地域としてウズベキスタン共和国班の 4 班で実施された。

本報告書は、上記 4 地域に派遣された議員団の調査結果を 1 冊に取りまとめたものである。各派遣団に 1 章を割り当て、参加した議員の総意により、調査の概要及び所見を記述している。

報告書は、過去の取扱いと同様に、議員各位に配付するとともに、関係諸機関等に送付し、また、本院ホームページ等を通じて、広く一般に公表することとした。

厳しい財政事情の中、政府開発援助の一層の効率化が図られるよう、本報告書が関係委員会等における国政審議に活用されることを切望するものである。

最後に、今回のODA調査派遣に当たり、内外の関係機関等の方々には大変なご協力を頂いた。ここに改めて感謝の意を表したい。

平成 29 年 6 月記

参議院政府開発援助調査派遣団

アンゴラ、南アフリカ、マラウイ、モーリシャス班	団長	佐藤正久
ブラジル、チリ班	団長	松下新平
カンボジア、シンガポール、ミャンマー班	団長	岩井茂樹
ウズベキスタン班	団長	山下雄平